

田中貴金属グループ、「朝小サマースクール in 昭和女子大学 2017」 にてワークショップを開催 ～子供たちが銀のオリジナルスプーンづくりに挑戦！～

田中貴金属グループの純粋持株会社であるTANAKAホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：田苗 明）は、朝日学生新聞社開催の「朝小サマースクール in 昭和女子大学 2017」に協賛し、8月5日（土）に貴金属をテーマにしたワークショップを開催しました。

ワークショップは計4回行い、あわせて50名の小学生が参加。講師の東京藝術大学 美術学部 工芸科准教授の前田 宏智氏より、意外と知られていない金や銀などの貴金属の特性について、動画などを交えてまず説明を受けたあと、銀のオリジナルスプーンづくりに挑戦しました。

銀の素材を金槌で叩いてスプーンのお皿の部分を広げたり、柄の部分伸ばしたり、初めての体験に最初は戸惑っていた参加者たちも、各班の先生役としてついてくれた東京藝術大学 美術学部 工芸科の学生の指導とサポートを受け、作業が進むにつれ次第に慣れ、銀という素材を感じながら制作を進めていきました。銀のスプーンは、柄の部分に「布目象嵌（ぬのめぞうがん）」と呼ばれる技法で金の薄板で飾り、世界に一つだけのスプーンが完成。さっそく自分で作ったスプーンでアイスクリームを楽しむと、銀の熱伝導率の高さによってスプーンを通して自分の体温がアイスクリームに伝わり、より掬いやすく食べやすいことも体感しました。

◇ワークショップ参加者の感想

参加者からは、「金などの貴金属を火で熱すると溶けたり、やわらかくなったりすることは知っていたが、あたたかくないのに銀の素材を叩いたら形が変わってびっくりした。」など、貴金属の素材自体の不思議さに驚いていました。

また、「金槌が重くて大変だったが、簡単にできないからむしろ楽しかった。」といった、スプーンを作る工程の楽しさも感じていました。

参加者の保護者からは、「ふだんできない貴重な体験ができた」という感想が多数あったほか、「完成形に近いものが用意されているワークショップと異なり、個性のある作品ができる点がよかった。」「真剣に取り組む子供の姿を見ることができた。」といった感想が寄せられました。



講師の前田氏に、布目象嵌で金の薄板を飾るために布目を切ってもらった参加者



先生のアドバイスを真剣に聞く参加者



それぞれに個性のある作品



完成したオリジナルスプーンを手にみんなで記念撮影

■TANAKA ホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング 22階

代表：代表取締役社長執行役員 田苗 明

創業：1885年 設立：1918年* 資本金：5億円

グループ連結従業員数：5,120名（2016年度）

グループ連結売上高：1兆642億5900万円（2016年度）

グループの主な事業内容：田中貴金属グループの中心となる持ち株会社として、グループの戦略的かつ効率的な運営とグループ各社への経営指導

HPアドレス：<http://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<http://pro.tanaka.co.jp>（産業製品）

*2010年4月1日にTANAKAホールディングス株式会社を持株会社とする体制へと移行いたしました。

■田中貴金属グループについて

田中貴金属グループは1885年（明治18年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇り、長年に渡って、産業用貴金属製品の製造・販売ならびに、宝飾品や資産としての貴金属商品を提供。貴金属に携わる専門家集団として、国内外のグループ各社が製造、販売そして技術が一体となって連携・協力し、製品とサービスを提供しております。また、さらにグローバル化を推進するため、2016年にMetalor Technologies International SAをグループ企業として迎え入れました。

今後も貴金属のプロとして事業を通じ、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核5社は以下の通りです。

- ・TANAKAホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・田中貴金属工業株式会社
- ・田中電子工業株式会社
- ・日本エレクトロプレイティング・エンジニアーズ株式会社
- ・田中貴金属ジュエリー株式会社